

国際ロータリー第 2540 地区

2010～2011 年度 地区運営方針

ロータリーを ENJOY しよう！

あなたはロータリーを ENJOY していますか？

突然このような質問された時に、あなたは如何答えますか。「ロータリアンとしての経験が短いおまえにそんなことを聞かれる筋合いではない」と、怒らずに、まず考えてみてください。5 年前に私がロータリークラブに入会したときに、先輩ロータリアンから「ロータリーを楽しんで下さい」と言われました。

ロータリークラブに入会した動機や目的が、それぞれのロータリアンに違いがあるように楽しみ方もそれぞれ違うでしょう。新会員とロータリークラブとの接点は、まず例会への参加です。食事が美味しい、皆さんとの話が楽しい、異業種交流になる、会長の講話が面白い、否、夜例会も楽しいものだ等など、楽しみ方もたくさんあります。他のクラブへのメークでは、もっと刺激的なことがあるかも知れません。実際に、驚くほどの感動があります。国内や海外出張の度に積極的にメークされているロータリアンもおられます。

会長エレクト研修セミナー（PETS）や地区協議会では、クラブの次期指導者が一堂に集まります。これからのクラブを如何しよう。国際ロータリーやロータリー財団、地区の目標が示され、意見や助言をもらうことも出来ます。同じ目的を持った人たちが集まるのですから、積極的に利用しないのは損です。

地区大会は如何でしょう。地区大会に参加することで、懐かしい人に会えるかも知れません。ロータリアンとしての名刺交換も新しい絆を作るでしょう。地区大会では、前年度からの地区委員会やクラブの活動内容が報告されますし、R.I 会長代理からは国際ロータリーの現況報告や R.I 会長テーマに関連する講話も行なわれます。クラブが新しいプロジェクトを開始するヒントが得られるかも知れません。記念講演は一般市民の方にもロータリー活動を広報する絶好の機会ともなります。

国際大会は如何でしょう。世界中からロータリアンが集まります。世界中で展開されるロータリー活動を目の前にすることが出来ます。開会式の華やかさは感動的です。友愛の家では、人種や宗教、経済、政治を超えた、人とひとのふれあいが持たれます。「ロータリーはひとつ」の心は、自分がロータリアンであることへの充足感を満たすものがあります。

クラブの活動は如何でしょう。目に見えるプログラムは動いていますか。5 年毎に行われる周年記念事業も大きなプロジェクトです。クラブ全員がこれに向かって進んでいきます。地域内の清掃活動や海外との青少年交換など狭く・広く・短く・長く様々な活動の場があります。

ロータリーの基本はクラブです。また、クラブの会員はボランティアを志したロータリアンです。ロータリーの奉仕の発展において、全てのプログラムはひとりのロータリアンがニーズを読み、クラブが活動を発展してきました。そうです、クラブが自分たちの地域

で、自分たちのプロジェクトを作って実施してきたのです。クラブをまたいでグローバルな活動を行うことは、世界ボランティアを実施することになります。

国際協議会においてレイ・クリングスミス RI 会長エレクトにより、2010-2011 年度の RI テーマは「地域を育み 大陸をつなぐ」と発表されております。まさに、ひとりのロータリアンの思いつきを、クラブがプロジェクトとして活動し、政治・経済・宗教を超えて大陸をつなぎ、世界的なボランティア活動を実施することと重なります。ポリオ撲滅も、ひとりのロータリアンの発案が、ロータリーだけでなく、WHO やユニセフなどを巻き込んだ世界的な活動へと発展しています。

クラブは未来に向けてのビジョンを持ちましょう。クラブが後世に残せるものは何ですか。クラブの会長が後世に残せるものは何ですか。今一度、胸に手を当てて考えてください。今の時代、ひとつのクラブが消えることもないとは言えません。しかし、ロータリーの奉仕は残ります。ロータリーが残る限り新しいプロジェクトが生まれます。新しく生まれたプロジェクトを育むためには、一年限りのものではなく、長い目で取り組むことが必要です。ロータリーは毎年指導者が代わり、一貫性を保つことが難しいと言われていました。長期計画を作ることでプロジェクトの一貫性と継続性が確保されるでしょう。

ロータリアンは、何かひとつ、「新しいこと」を始めてみませんか。それがクラブの新しいプロジェクトになるかもしれません。「新しいこと」と言っても、「そう簡単に発見できるものではない」とお考えなら、今迄と違うことをしましょう。これは従来の活動を否定するものではありません。しかし、同じやり方では駄目になってしまうかもしれませんが、見直すことで新しいプロジェクトが生まれるかもしれません。変化に対応できない人たちは、残ることが出来ない人たちです。国際ロータリーもロータリー財団も同じです。二つの組織は大きく変わろうとしています。

クラブは、3年、5年、10年の長期計画を作ってみましょう。1年間では出来ないかもしれませんが、地区も作り始めます。また、地区とクラブが長期計画を共有するという事は、グローバルな活動をより推進し易くなり、2013-14年度から実施されるグローバル補助金を有効に使う手段ともなります。

国際ロータリーは事業方針・目標を提示します。しかし、ロータリーの基本はクラブにあります。クラブが主体的に計画し、地区は計画の立案と実行を支援します。ロータリークラブが魅力あるものと成るには、会員が誇りと出来る活動をし、人々に認められ、クラブ自身が生き生きとしていなければなりません。RI会長の強調事項、長期計画、ロータリー財団の「未来の夢計画」は、クラブに強制するものではありません。クラブが計画を立案する上で、指標として出されるものです。

「これ以上やることがない」という状況が出来るでしょうか。一人のロータリアンでは出来ないことをクラブが実行します。クラブが出来ないことを地区が支援します。国際ロータリーやロータリー財団の支援も受けられるでしょう。地区や財団の支援を受けるには計画が必要です。闇雲に何かをやる、というのではなく、何の為に・何処で・何を・何時までに・どんな方法でやるのか、を計画し行動する。そして行動した結果を検証することも必要です。継続か、中止か。今までやってきたのだからそれで良いではなく、検証する

ことで新しいプロジェクトが生まれるかも知れません。

プロジェクトが動くことで、クラブに活力が生まれます。活気に満たされたクラブは魅力的で、ロータリアンも自信に満ち溢れています。それは、周囲の人たちを動かします。それらの人々に「一緒にやりたい」という気持ちが生まれたら、クラブへの入会を誘うには最高のものとなるでしょう。クラブの外から認められたということは、クラブの意欲をさらにかき立てられます。魅力ないクラブからは人が去り、魅力あるクラブには人が集まります。何かをしているという高揚感や何かを成し遂げたという達成感、感動を呼び起こします。まさに、これがENJOYです。ロータリーをENJOYしましょう。

地区として、以下の重点項目について推進していきます。

- ① RIの年次テーマを理解し、プロジェクトの立案・実行に役立てよう。
- ② 地区とクラブは長期計画を作ろう。
- ③ 新会員を増やすと共に、新クラブの結成を推進しよう。
- ④ 地区並びに会員同志の情報の共有化を推進しよう。
- ⑤ ポリオ撲滅を支援しよう。
- ⑥ ロータリー財団へ、「あなたも100\$を」推進しよう。
- ⑦ 米山記念奨学会事業を支援しよう。
- ⑧ 地区大会（南秋田郡大湯村）10月23日（土）・24日（日）に参加しよう。
- ⑨ 国際大会（米国・ニューオリンズ）に参加しよう。